

市政記者各位

令和5年9月4日
経済観光文化局

「FaN Week (ファンウィーク) 2023」メディア様向け撮影のご案内

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしの中で身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む『Fukuoka Art Next (FaN)』を推進しています。

昨年度に続き第2回目となる「“Fukuoka Art Next”Week (FaN Week)」を令和5年9月16日(土)～10月22日(日)に開催致します。

FaN Week開催初日に、メディア様向けにご取材いただける場面を設定させていただきますので、ぜひご取材方、よろしくお願いします。

イベント全体概要を別添していますので、市民への周知及び取材にご協力よろしくお願いいたします。

■ メディア様向け事前撮影

取材Point 1

会場の1つである市美術館では、広く市民の方々がアートを鑑賞し、楽しんでいただける機会として、3人のコレクター（竹内真氏、武富恭美氏、西高辻信宏氏）が所有する作品をコレクターの想いとともにご紹介します。
この期間、この場所ではしか観覧できない計35点のアート作品が集結する二度とない機会です。

また、日本を代表する現代美術家 塩田千春氏の新作《記憶をたどる船》が、福岡市美術館に、設置、収蔵が決まり、オープニングである16日から公開開始します。

一般公開の前に、メディア様向けに事前内覧会を実施しますので、ぜひご取材ください。



福岡市美術館
(福岡市中央区大濠公園1-6)

日時：9月16日(土) 9:00～9:30

撮影内容：3名のコレクターの展覧作品 / 塩田千春作品

「コレクターズⅡ アートと生きる3人」展

【会場】福岡市美術館近現代美術室B

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当

TEL：092-707-3779



たけうち しん
竹内 真氏
ビジュアル株式会社
取締役CTO



たけとみ やすみ
武富 恭美氏
建築家



にしたかつじ のぶひろ
西高辻 信宏氏
太宰府天満宮 宮司

塩田千春作品《記憶をたどる船》展示

【会場】福岡市美術館近現代美術室C

【問い合わせ先】福岡市美術館学芸課

TEL：092-714-6054



しおた ちはる
塩田 千春
Photo：Sunhi Mang



《記憶をたどる船》
プラン図

■ オープニングセレモニー

会場の1つであるArtist Cafe Fukuokaでは、**大型アート作品の制作・展示等が可能となるよう体育館をリニューアル**し、FaN Weekオープニングにあわせ、同館にて令和5年度アーティスト・イン・レジデンスの作家による大型アート作品展示を実施します。

FaN Weekオープニングセレモニーも同会場にて実施し、一般公開前のセレモニー内で当該大型アート作品をお披露目します。



リニューアルした体育館外観

FaN Week オープニングセレモニー

【会場】Artist Cafe Fukuoka体育館
(福岡市中央区城内2-5)

【日時】9月16日(土)～
10:30～11:10頃(受付は10時から)

【内容】○主催者、来賓者挨拶
○FaN Week出展アーティスト紹介
○レジデンス作家による大型作品お披露目 など

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当
TEL : 092-707-3779

撮影日時 : 9月16日(土) 10:30～:11:10

撮影内容 : チーフディレクター、コレクター等が出席する式典
リニューアルした体育館及び大型作品展示

【セレモニー登壇者(下記以外にもコレクター等登壇予定)】



みやつ だいすけ
宮津 大輔氏

FaN Weekチーフディレクター



ジン・チェ&トーマス・シャイン
R5レジデンス作家

『FaN Week 福岡城アートプロジェクト』 福岡現代作家ファイル2023の一部

撮影日時 : 9月16日(土) 11:25～:11:40頃

撮影内容 : 出展アーティストによる作品解説など

会場の1つである**福岡城史跡エリア**では、福岡を拠点として活動するアーティストが、**櫓**などにて**インスタレーション展示やパフォーマンスを開催**。

体育館でのセレモニー終了後、櫓で作品を展示するアーティスト1名に作品解説をしてもらいます。

【会場】福岡城跡 旧母里太兵衛邸長屋門
(福岡市中央区城内)

【展示アーティスト】



チョン・ユギョン

第1回
福岡アートアワード受賞作家

【本件取材の問い合わせ先】

福岡市経済観光文化局文化振興部アートのまちづくり推進担当
担当 : 吉武、南
TEL : 092-707-3779 / FAX : 092-733-5537
Mail : art-community.EPB@city.fukuoka.lg.jp

アートに出会う アートファンになる

“Fukuoka Art Next”Week (FaN Week) 2023

■「コレクターズⅡ アートと生きる3人」展【再掲】

【会場】福岡市美術館近現代美術室B

(福岡市中央区大濠公園1-6)

【日時】9月16日(土)～10月22日(日)

9:30～17:30 (金・土曜日は20時)

※入館は閉館30分前まで

【休館】9月19日(火)、9月25日(月)、

10月2日(月)、10月10日(火)、

10月16日(月)

【料金】一般200円、高大生150円、中学生以下無料

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当

TEL : 092-707-3779



たけうち しん
竹内 真氏

ビジュアル株式会社
取締役CTO



たけとみ やすみ
武富 恭美氏
建築家



にしたかつじ のぶひろ
西高辻 信宏氏
太宰府天満宮 宮司

■「コレクターズⅡ」 展示作品の一部紹介

Andy Warhol
Dracula from Myths



Andy Warhol
Dracula from Myths 1981年
© 2023 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc.
/ Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo B0674

Simon Fujiwara
Around and Around Who Goes? (Social Media)



Simon Fujiwara
Around and Around Who Goes? (Social Media)2022年
©Simon Fujiwara Courtesy of TARO NASU
Photo by Yasushi Ichikawa

■塩田千春作品《記憶をたどる船》展示【再掲】

【会場】福岡市美術館近現代美術室C

(福岡市中央区大濠公園1-6)

【日時】9月16日(土)～

9:30～17:30 (9-10月の金・土曜日は20時)

※入館は閉館30分前まで

【休館】月曜

月曜日が祝日・振替休日の場合はその次の平日

【料金】一般200円、高大生150円、中学生以下無料

【問い合わせ先】福岡市美術館学芸課

TEL : 092-714-6054



しおた ちはる
塩田 千春

Photo : Sunhi Mang



《記憶をたどる船》
プラン図

■ 『FaN Week 福岡城アートプロジェクト』

会場の1つである**福岡城史跡エリア**では、福岡を拠点として活動するアーティストが、**櫓**などにて**インスタレーション**展示や**パフォーマンス**を開催。より多くの方に福岡のアーティストを知っていただく機会とします。

【福岡城史跡エリア 各展示会場】



①三の丸広場



②(伝)潮見櫓



③下之橋御門



④旧母里太兵衛邸
長屋門



⑤Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース



⑥市美術館
エスプラナード

◆ I : 栗林 隆 + CINEMA CARAVAN

三の丸広場では、FaN Weekの**特別企画**として、アーティスト「**栗林 隆 + CINEMA CARAVAN**」による**元気炉 (スチームサウナ)**、**Tanker Project**を展示。

また、CINEMA CARAVAN代表「志津野 雷 (しづの らい)」氏の映像作品「Play with the Earth」に合わせ、オーケストラによる生演奏を実施。



くりばやし たかし
■ 栗林 隆

1968年生まれ。東西統合から間もない1993年よりドイツに滞在した頃より「境界」をテーマにドローイング、インスタレーション、映像など多様なメディアを使いながら作品を発表。現在は日本とインドネシアを往復しながら国際的に活動し、様々な展覧会に招聘されている。

ドイツで開催された2022ドクメンタ15 (Cinema Caravan and Kuribayashiとして) では「蚊帳の外」を拠点に様々なイベントを行い、その際発表した《元気炉四号機》が評価され、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞している。



■ CINEMA CARAVAN

2010年に神奈川県伊豆市で開催された第一回伊豆海岸映画祭を作り上げたメンバーを中心に発足。写真家：志津野雷を発起人としたアーティスト、ミュージシャン、画家、大工、料理人など様々なジャンルにまたがる人の集団としての側面、訪れた地域の人や文化とコラボレーションを行い地域を活性化させる触媒としての側面、アートフェスティバルや映画祭で演出や空間づくりを行うコレクティブとしての側面、これら様々な側面を併せ持つ人の集合体・プロジェクト。培ってきた経験や繋がりを自分たちのローカルに持ち帰り発展させ、それをまた旅先に還元する循環を生み出し続けている。



【「栗林 隆 + CINEMA CARAVAN」の過去の作品】

【会場】①舞鶴公園 三の丸広場 福岡市中央区城内)

【日時】・9月16日(土)、17日(日) 18:00~23:00

元気炉、Tanker Projectの稼働 / 映像作品上映 + 生演奏 など

- ・9月18日(月祝) ~ 9月20日(水) : 元気炉、Tanker Projectの展示
- ・9月21日(木) 19:00~22:00 : 元気炉の稼働
- ・9月22日(金)、23日(土) : 元気炉、Tanker Projectの展示
- ・9月24日(日) 19:00~22:00 : 元気炉の稼働

【展示内容】元気炉(スチームサウナ)、Tanker Project

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当 (TEL: 092-707-3779)

◆ II : 福岡現代作家ファイル2023



Photo:

Charlotte Raymond

かまた ゆうすけ
■ **鎌田 友介** (第1回福岡アートアワード受賞作家)

1984年生まれ。2013年東京藝術大学大学院先端芸術表現修了。

歴史や社会の状況を反映するとともに、国家の文化やアイデンティティ形成のツールにもなる建築をテーマに美術と建築を横断する活動を続ける。近年は日本占領下の韓国や台湾で作られた日本家屋やアメリカ合衆国で焼夷弾実験のために作られた日本村の設計などの調査を通し、異なる歴史的背景と場所において日本家屋が孕んだ多様な意味を描き出すプロジェクトを手がける。

【会場】②福岡城跡 (伝)潮見櫓 (福岡市中央区城内)

【日時】・9月16日(土) ~ 9月24日(日) 11:00-17:00 (※9/19は休み)

・9月29日(金) ~ 10月22日(日) 11:00-17:00 (※期間中、金・土・日・祝日のみ開場)

※入場は終了30分前まで

【展示内容】映像、写真など

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当 (TEL: 092-707-3779)

なもなきさねまさ

■ **名もなき実昌**



1994年生まれ。Twitterで取得したアカウント名で活動を開始し、その日視聴したアニメのドローイング、jpegをモチーフにしたペインティングを発表している。主にモチーフとするのは、アニメキャラクターやTwitterなどのSNSに投稿される断片的な情報や画像。インターネット上にある人格や画像と、アニメキャラクターの類似性をテーマに、画的に解体されたキャラクターが「幽霊的」に偏在するイメージを表現している。

【会場】③福岡城跡 下之橋御門（福岡市中央区城内）

【日時】・9月16日（土）～9月24日（日）11:00-17:00（※9/19は休み）

・9月29日（金）～10月22日（日）11:00-17:00（※期間中、金・土・日・祝日のみ開場）

※入場は終了30分前まで

【展示内容】陶器、灯籠、絵画、インスタレーションなど

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当（TEL：092-707-3779）



■ **チョン・ユギョン**（第1回福岡アートアワード受賞作家）

1991年生まれ。2014年朝鮮大学校美術科卒業。

在日コリアン3世というバックボーンを基点にして、国家と個人の間を問い直す表現を探究している。

【会場】④福岡城跡 旧母里太兵衛邸長屋門（福岡市中央区城内）

【日時】・9月16日（土）～9月24日（日）11:00-17:00（※9/19は休み）

・9月29日（金）～10月22日（日）11:00-17:00（※期間中、金・土・日・祝日のみ開場）

※入場は終了30分前まで

【展示内容】陶器など

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当（TEL：092-707-3779）



ながの さくらこ

■ **長野 櫻子**（2022年福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス招聘作家）

1989年生まれ。2016年広島市立大学芸術学研究科造形芸術専攻修了。

現在、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)在籍。anno lab所属。動きを創造することや動きに興味を持ち、短編アニメーションや、アニメーションを用いたインスタレーション作品を制作している。

【会場】⑤Artist Cafe Fukuokaコミュニティスペース（福岡市中央区城内2-5）

【日時】・9月16日（土）～9月24日（日）11:00-19:00（※9/19は休み）

・9月26日（火）～10月22日（日）11:00-19:00（※9/25（月）、10/2（月）、

10/10（火）、10/16（月））は休み

※鑑賞時間は、Artist Cafe Fukuokaのオープン時間と同じ

【展示内容】映像

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当（TEL：092-707-3779）



■ **ソー・ソーエン**（2022年福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス招聘作家）
1995年生まれ。

生にまつわる事象を身体との関わり合いを通して考察する絵画、インスタレーションやパフォーマンスを国内外にて発表。コロナ禍に始まったオランダ在住のサラ・ミリオとの共同プロジェクトや、銀座エルメスフォーラムにて内藤アガーテの作品を使用したパフォーマンスを実施するなど、独自の活動を展開している。

【会場】⑥福岡市美術館北口～エスプラナード（福岡市中央区大濠公園1-6）

【日時】9月18日（月祝）16:00-16:30（※1日みのパフォーマンス）

【内容】パフォーマンス

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当（TEL：092-707-3779）

■ 福岡アジア美術館第19回アーティスト・イン・レジデンスの成果展「ダイアローグー交信する身体」



■ **ジン・チェ&トーマス・シャイン**（チェ+シャイン・アーキテクト）

2023年アーティスト・イン・レジデンス招聘作家（招聘期間 7/18～9/18）。
2003年設立。光を巧みに用いた作品や人型の送電線など、これまで大型のパブリックアートを数多く手掛けてきたアーティストユニット。近年ではレース編みされた立体作品を屋外や川の上に設置し、公共空間へ詩的な介入を試みている。
福岡では100人以上の市民とコミュニケーションを重ね、大型のインスタレーションを旧舞鶴中学校の体育館内に共同制作する。

【会場】Artist Cafe Fukuoka体育館（福岡市中央区城内2-5）

【日時】・9月16日～10月22日（日）11:00-17:00（※期間中、金・土・日・祝日のみ開場）

※入場は終了30分前まで

【展示内容】インスタレーション

【問い合わせ先】福岡アジア美術館学芸課（TEL：092-263-1103）



しみず みほ

■ **清水 美帆**

2023年アーティスト・イン・レジデンス招聘作家（招聘期間 7/10～9/27）。
ライブイベントや映像作品の舞台セット、衣装などを手がけてきたアーティストで、近年は、夢、人形劇、凧（たこ）などをテーマに、地域コミュニティや専門家との交流を重ねている。福岡ではベトナムの職人と制作した「凧」を出発点に、九州の伝統的な凧文化をリサーチし、人々との出会いやストーリーを反映した作品を制作する。

Photo：ハイジ・ヴォーゲル

【会場】（1）Artist Cafe Fukuokaスタジオ（福岡市中央区城内2-5）

（2）福岡アジア美術館アートカフェ（福岡市博多区下川端町3-1）

【日時】（1）9月16日（土）～9月24日（日）11:00-17:00（※9/19は休み）

（2）9月16日（土）～10月22日（日）9:30-19:30（※金・土曜日は20時、水曜日休館）

【展示内容】凧や資料によるインスタレーション

【問い合わせ先】福岡アジア美術館学芸課（TEL：092-263-1103）

やまもと せいこ

■ 山本 聖子



2023年アーティスト・イン・レジデンス招聘作家（招聘期間 7/4～9/27）。

1981年生まれ。

子ども時代を過ごしたニュータウンでの生活や違和感から、表現を立ち上げてきたアーティスト。福岡では、これまで関心を持ちつづけてきた「鉄」や「団地で育った身体」をテーマに、明治以降の産業近代化についてリサーチし、人々の身体性が時代とともにどのように変容してきたのかを映像インスタレーションとして発表する予定。

【会場】(1) Artist Cafe Fukuokaギャラリー（福岡市中央区城内2-5）

(2) 福岡アジア美術館ロビー（福岡市博多区下川端町3-1）

【日時】(1) 9月16日（土）～9月24日（日）11:00-17:00（※9/19は休み）

(2) 9月16日（土）～10月22日（日）9:30-19:30（※金・土曜日は20時、水曜日休館）

【展示内容】映像インスタレーション、平面作品

【問い合わせ先】福岡アジア美術館学芸課（TEL：092-263-1103）

■ 福岡アジア美術館開館25周年スペシャル企画 福岡アジア美術館 ベストコレクション



ファン・リジュン（方力均）
《シリーズ2No.3》1992年

福岡アジア美術館は、2024年3月6日に開館25周年を迎える。それを記念して、アジア美術の「オールスター」とも言うべき10名のアーティストの作品に出会っていただけるように企画。

選んだ10名は、現存するアーティストであり、世界で活躍することで母国のアートの評価を国際的に高めたり、自国の先進的なアートシーンをリードしてきたアーティストである。

約5,000点のコレクションから選りすぐった10名24点の作品は、いずれもアジアのいまを伝える力にあふれている。

【会場】福岡アジア美術館 アジアギャラリー（福岡市博多区下川端町3-1）

【日時】令和5年9月14日（木）～令和6年4月9日（火）9:30～18:00（※入室は閉室30分前まで）

※金・土は20:00まで

【休館】水曜日（但し、1月3日と3月20日は開館。3月21日休館、及び12月26日～1月1日）

【料金】一般200(150)円 高大生150(100)円 中学生以下無料（※（ ）内は20人以上の団体）

【問い合わせ先】福岡アジア美術館学芸課（TEL：092-263-1104）

■ ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023



8回目の開催となるAFAFでは、国内外のギャラリーをはじめ、過去最大となる総勢126の出展者が集結。さらにコロナ禍後初となる、韓国、香港、台湾やASEAN諸国より海外14ギャラリーが出展。

また、マリンメッセB館での初開催となり、昨年に比べ約4倍となる約5,000㎡の広さを活かし、アートの魅力と熱気が一つの会場に集約したアートフェアを展開。

【会場】マリンメッセB館（福岡市博多区沖浜町2-1）

【日時】9月22日（金）14:00-19:00 / 9月23日（土）11:00-19:00 / 9月24日（日）11:00-17:00

【入場料】3,000円（前売券2,500円）

【詳細】ホームページ（「アートフェアアジア福岡」で検索）でご確認ください。

【問い合わせ先】アートフェアアジア福岡事務局（TEL：050-5896-3126）

■ Fukuoka Wall Art Project (天神・博多エリア)

FaN Week に合わせ、Fukuoka Wall Art賞の受賞作品を天神や博多駅周辺の建設現場の仮囲い等に掲出します（9月18日（月）から順次掲出）。

また、ART FAIR ASIA FUKUOKA2023で受賞作品の展示、販売を行います。

【問い合わせ先】福岡市文化振興課：092-711-4969



■ Fukuoka Wall Art Projectとは
美術分野のアーティストに建設現場の仮囲い等を活用し、まちなかでの発表の場と作品を展示・販売する機会を提供することで、アーティストのさらなる活躍につなげるとともに、アートによるまちの賑わいの創出を図ります。



昨年度の掲出の様子



今年度の受賞作品

牛島 智子 / 「種を蒔くように絵を描いたよ。
水を撒くように絵の具を舞いたよ。」

■ 福岡市民芸術祭

福岡市民芸術祭では、FaN Week期間中に、福岡アジア美術館での音楽ライブや、福岡城史跡エリアでのダンスパフォーマンスを実施し、アートとのコラボレーションによりFaNWeekを盛り上げます。



① **音楽ライブ**：福岡市民芸術祭オープニングイベント『黄昏に奏でるアート』
音楽ライブとともに福岡アジア美術館ベストコレクション展も楽しんでいただけます。

■ **baobab** (バオバブ)

アコースティックサウンドを奏でる兄妹ユニット。

■ **Rue de Valse** (ルードバルス)

軽快でチャームなアコーディオン、エスプリとウィットに富んだギターのユニット

■ **Rhythm Society** (九州大学軽音楽部ジャズ研究会)

約80名の部員を持つサークル。ビッグバンド『Rhythm Society Jazz Orchestra(RSJO)』と 少人数で組まれる多数のコンボにより活動



② **ダンスパフォーマンス**：コンドルズと創る！ 踊る！ 魅せる！ FaN Funパフォーマンス

■ **コンドルズメンバー** (近藤良平氏、石渕聡氏、黒須育海氏)
& ワークショップ参加者18名



【会場】①福岡アジア美術館 アートカフェ

②福岡城史跡エリア／福岡城跡→Artist Cafe Fukuoka→福岡市美術館

【日時】①9月16日（土）16:00～18:00

②9月24日（日）13:30～スタート（時間差実施）

【詳細】ホームページ（「福岡市民芸術祭」で検索）でご確認ください。 観覧無料

【問い合わせ先】（公財）福岡市文化芸術振興財団 TEL:092-263-6265

■ FaN Week 連携イベント

FaN Week 期間中、福岡市内では様々な連携イベントが開催されます。

■ ART×COFFEE アート×コーヒー福岡散歩2023

FaN Week チーフディレクター 宮津大輔氏 と Click Coffee Works 古賀由美子氏 による企画、ディレクションのイベント「ART×COFFEE アート×コーヒー福岡散歩2023」を開催します。

【参加店舗】

珈琲美美、Saredo Coffee、COFFEEMAN Roasting & Planning & Café、ÉCRU “FRESH COFFEE & NATURAL WINE”、A little COFFEE、Filles et Garçons、NIYOL COFFEE、COFFEE& CAKE STAND LULU、COFFEE COUNTY Fukuoka

【詳細】FaN Week 特設サイト（「FaN Week 2023」で検索）でご確認ください

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当（TEL：092-707-3779）

■ アート茶会 vol.2

FaNパートナーのコミュニティホステル「WeBase 博多」のラウンジで、写真家 木下史雄氏 による『旅』がテーマの作品展示と、表千家茶道教授 桑野知義氏・藤田慧子氏 による茶会を開催します。

【会場】WeBase 博多 ラウンジ（福岡市博多区店屋町5-9）

【日時】9月22日（金）～9月24日（日）14:00～17:00

（※アート展示は、9月21日（木）～9月24日（日）10:00～20:00）

【詳細】ホームページ（「WeBase博多 アート茶会」で検索）でご確認ください

【問い合わせ先】WeBase 博多（TEL：092-292-2322）



昨年度の様子

上記以外にも様々な企画を開催予定です。

情報の詳細は、FaN Week 特設サイト、FaN公式Instagramを下記QRコードよりご覧ください。



特設サイト



Instagram

【本件リリースの問い合わせ先】

福岡市経済観光文化局文化振興部アートのまちづくり推進担当

担当：吉武、南

TEL：092-707-3779 / FAX：092-733-5537

Mail：art-community.EPB@city.fukuoka.lg.jp